

## 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存につき講ずべき措置」の 検討について

### 1. 背景

平成 26 年 6 月に施行された絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の一部を改正する法律（平成 25 年法律第 37 号）附則及び絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議（衆議院及び参議院）に基づき、規定について検討が必要。

環境省が作成しているレッドリストでは、3,596 種を絶滅危惧種として選定しており、我が国の野生生物は依然として厳しい状況に置かれている。

近年の国際希少野生動植物種の個体等の流通の状況を踏まえ、登録制度等のあり方について検討が必要。

種の保存等に関する動植物園等の公的機能の推進方策のあり方について、検討が必要。

### 2. 検討の進め方

H28.2.10 野生生物小委員会

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律あり方検討会」において検討を行うことを了承



H28.5～10 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律あり方検討会」

- 規定について検討
- 検討会報告とりまとめ



H28.8～ 野生生物小委員会に諮問・中間報告

- パブリックコメント

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律あり方検討会」は、野生生物小委員会の一部の委員等及び関係する分野の専門家等により構成。

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律あり方検討会 名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属等
石井 信夫	東京女子大学 現代教養学部 教授 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会 専門委員
石井 実	大阪府立大学 理事・副学長 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会 委員長
磯崎 博司	上智大学 客員教授 / 岩手大学 名誉教授 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会 専門委員
金子 与止男	岩手県立大学 総合政策学部 教授
小菅 正夫	北海道大学 客員教授 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会 臨時委員
松井 正文	京都大学 名誉教授
宮本 旬子	鹿児島大学大学院 理工学研究科 准教授 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会 臨時委員
森 誠一	岐阜経済大学 経済学部 教授

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存につき講ずべき措置  
今後の検討の進め方

平成 28 年

- 2月10日(水) 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会  
・あり方検討会において検討を行うことを了承
- 6月16日(木) 第1回あり方検討会  
・我が国の絶滅危惧種の保存に関する現状と課題
- 6月28日(火) 第2回あり方検討会  
・国際的な希少種の流通等に関する現状と課題
- 8月3日(水) 第3回あり方検討会  
・動植物園等の公的機能推進方策  
・講ずべき措置の検討
- 8月16日(火) 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会  
・諮問  
・中間報告
- 9月15日(木) 第4回あり方検討会  
・講ずべき措置の検討
- 10月13日(木) 第5回あり方検討会  
・講ずべき措置の検討
- 11月以降 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会  
・答申(案)

パブリックコメントの実施

平成 29 年

- 1月以降 中央環境審議会自然環境部会野生生物小委員会  
・答申